

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 19 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		青少年教育関連事業（成人式）				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	高木敏明
	施 策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	生涯学習課	担当者名	甲斐朝子
	基本事業	41	自主的地域づくり(まちづくり)への意識の高揚			所属班	生涯学習班	(内線)	1502
		法令根拠							
予算科目		会計 1	款 10	項 5	目 1	事業連番 10333	☐ 20年度で終了 ☐ 21年度から開始		成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 6*4
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 成人式典の開催 【業務の流れ】 未来ある若者たちが、大人の仲間入りとなる機会に一同に集う場を設け、自ら生き抜こうとする意思を持ってもらうとともに、先輩や保護者によって青年たちを祝い励ます。実施内容は新成人の中から実行委員を募集し、企画を出し合いながら作り上げていくこととしている。 【主な予算費目】 報償費(成人者記念品、記念樹)、消耗品費(看板・生花代)、印刷製本費(成人者集合写真代)									

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 平成21年1月12日にヴィーブル文化会館にて成人式典開催。新成人503名出席(出席率79%)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 成人式典出席人数 人 ⇒ イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 新成人(昭和63年4月2日～平成元年4月1日生まれ)となる市民	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 新成人(昭和63年4月2日～平成元年4月1日生まれ)となる市民の人口 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 成人になった自覚を持ち、一市民としてまちづくりへの理解が深まる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア まちづくりに取り組む必要があると思う新成人の割合 % ⇒ イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 成人になった自覚を持ち、一市民としてまちづくりへの理解が深まる	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア まちづくりに取り組みたいと思う市民の割合 % ⇒ イ

(2) 総事業費・指標等の推移

			単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								総 トータル コスト (期間 限定複 数年度 のみ記 載)		
			都道府県支出金	千円										
			地方債	千円										
			その他	千円										
			繰入金	千円										
			一般財源	千円	967	704	1,018	664	961	1,000	1,000			
	人件費		(A)事業費計	千円	967	704	1,018	664	961	1,000	1,000			
			うち指定経費	千円										
			うち時間外、特殊勤務手当	千円										
			正規職員従事人数	人	7	10	10	9	10	10	10			
延べ業務時間	時間	590	590	590	590	590	590	590						
(B)人件費計	千円	2,342	2,348	2,348	2,348	2,348	2,348	2,348						
トータルコスト(A)+(B)			千円	3,309	3,052	3,366	3,012	3,309	3,348	3,348				
活動指標			人	528	484	550	503	550	550	550	目 標 合 計 値 画 22 年度			
対象指標			人	653	648	645	636	640	640	640				
成果指標			%	未調査	20	25	20	25	30	35				
上位成果指標			%	未調査	50	55	50	55	60	65				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

成人式典が行われるようになった経緯は明らかでなく、始まった年代も特定できない。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

合併前、旧町それぞれで古くから行われていた事業であるが、少子化の影響で次第に対象者は減少する傾向にあった。合併後は対象者数が倍増することになり、会場の収容能力に不安があったが、無事開催することができた。ただ、出身中学校別に座席を設けたり、記念写真を撮影したりしているが、小学校で転校した帰省者や私立の中学校に進学した者もあり、現状のやり方を改善する必要がある。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

大人としての自覚を持ってもらい、地域の人材として育てもらうことが目的であるが、若者の意識の変化で、対象者にその意識が芽生えるか心配だとの声がある。成人者の親から、成人の日(月曜日)でなく、その前の日曜日に成人式典を開催してほしいとの要望が寄せられている。

事務事業名	青少年教育関連事業(成人式)	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE)＊原則は20年度的事後評価、ただし複数年事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 新しく大人になった若者たちに、自分たちの市に誇りを持ってもらい、地域づくりの意識を芽生えさせることができるから。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 元気な若者は地域を変え、時代を変革していこうとする原動力である。その意識を植え付ける格好の機会であると思われるから。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 現状では対象・意図は適切であるから。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 式典内容を、来賓からの挨拶に終始することなく、新成人が「自分たちの市のために何かがしたい」と思わせる内容にし、若者の琴線に触れる催しを検討していけば、もっと成果を向上させることが出来るから。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ☒ 影響有 ⇒【その内容】 人生のまたとない節目に、自分たちの市は何もしてくれないとなれば、郷土に親しみを持たず、まちづくりへの契機もつかめなくなると考える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 古い歴史を持つわが国独特の事業であり、連携や統合になじまないと思われるから。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 対象である若者に贈呈する記念品、式典会場の装飾等は高価である必要はなく、経費節減は可能であるから。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 若者離れが甚だしい過疎の市町村と違い、世間一般的に通常の開催日である「成人の日」に開催し、多数の若者に式典出席を求める以上、必要な職員配置は必須であり、現状でも式典当日はボランティアの方にもお手伝いいただいているので、これ以上の人件費の削減は困難であるから。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 対象者である新成人者の、大人としての新しい門出を祝福する事業であり、受益者負担の考え方はなじまないと思われるから。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	→	③効率性については、記念品や式典会場の装飾、記念写真の是非などを考慮して、経費削減に努める必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☒ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 実行委員となる新成人有志を募り、特色のある式典を演出するよう仕向けながら、合志市の未来は自分たちで作っていくという意識を醸成していくよう、参加者へメッセージを発信し、地域づくり、まちづくりへの参加を促していく成人式にしていきたい。		(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 上記のような意識を、どのくらいの若者が理解し、将来実践するまでに至るかの事業の効果を判定することが困難である。																							

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	5	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)
(2)貢献度	6	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)

合志市